

## 2. 藤治川・針ヶ谷堀流域の遺跡群の動向について

既に立地と環境において、下道南遺跡を含む藤治川・針ヶ谷堀流域の特徴について触れているが、ここでは、下道南遺跡周辺地域の遺跡群の内容についてさらに詳しく触れ、下道南遺跡理解の一助としたい。

藤治川・針ヶ谷堀流域は、幅狭な谷地形が細長く伸びており、弥生～奈良・平安時代にかけて、断続的な地域開発がなされたものと推定できる。

また、西部は山崎山、諏訪山丘陵、東部は、櫛挽台中央部の遺跡空白帯と接することにより、比較的限定された地域設定が可能な地域であり、第Ⅱ章においてⅢ地域として分類した。当地域は以上の状況から、集団間の関係や遺跡の動向を比較的追いやすい地域である。

藤治川上流域の調査では、用土北沢遺跡（寄居町）の調査事例が注目される（第27図）。当遺跡からは、古墳時代前期の周溝墓から後期古墳への変遷がたどれる。このような事例は、藤治川下流域の千光寺遺跡（第31図）に共通性を見いだすことができる。この他、藤治川とはやや距離を置くが、諏訪山丘陵上に位置する玄蕃谷遺跡1～3号住居跡も古墳時代前期の豊富な土器群が検出されている（第28図）。さらに、中流域の猪山古墳群でも、方墳が確認されていることから、藤治川流域及びその周辺において、複数集団の存在が確認できる。猪山古墳群に隣接する猪山祭祀遺跡は、古墳時代中期に遡る可能性が指摘されている（深谷市教委2006）。猪山古墳群及び祭祀遺跡周辺は、藤治川流域において重要な位置を占める（第29～30図）。このように狭小な谷水田を生産基盤とした各所に点在する集団は、水利面において深い関係を有さざるを得ず、藤治川・針ヶ谷堀流域に農業共同体的な関係が想定されるのである。

7世紀後半～8世紀前半代に位置づけられる遺跡は、現在のところ少ないが、下道南遺跡（本報告）、地福院・中南遺跡（第35～36図）、用土北沢遺跡での検出例が明確なものである。

地福院遺跡、中南遺跡、下道南遺跡は、針ヶ谷堀中流域に所在する遺跡であり、いずれも小規模な調査事例であるが、7世紀末頃以降成立する集落跡が検出された意義は大きい。今後これらの集落跡が前代からどのような過程を経て形成されたのかに留意する必要がある。

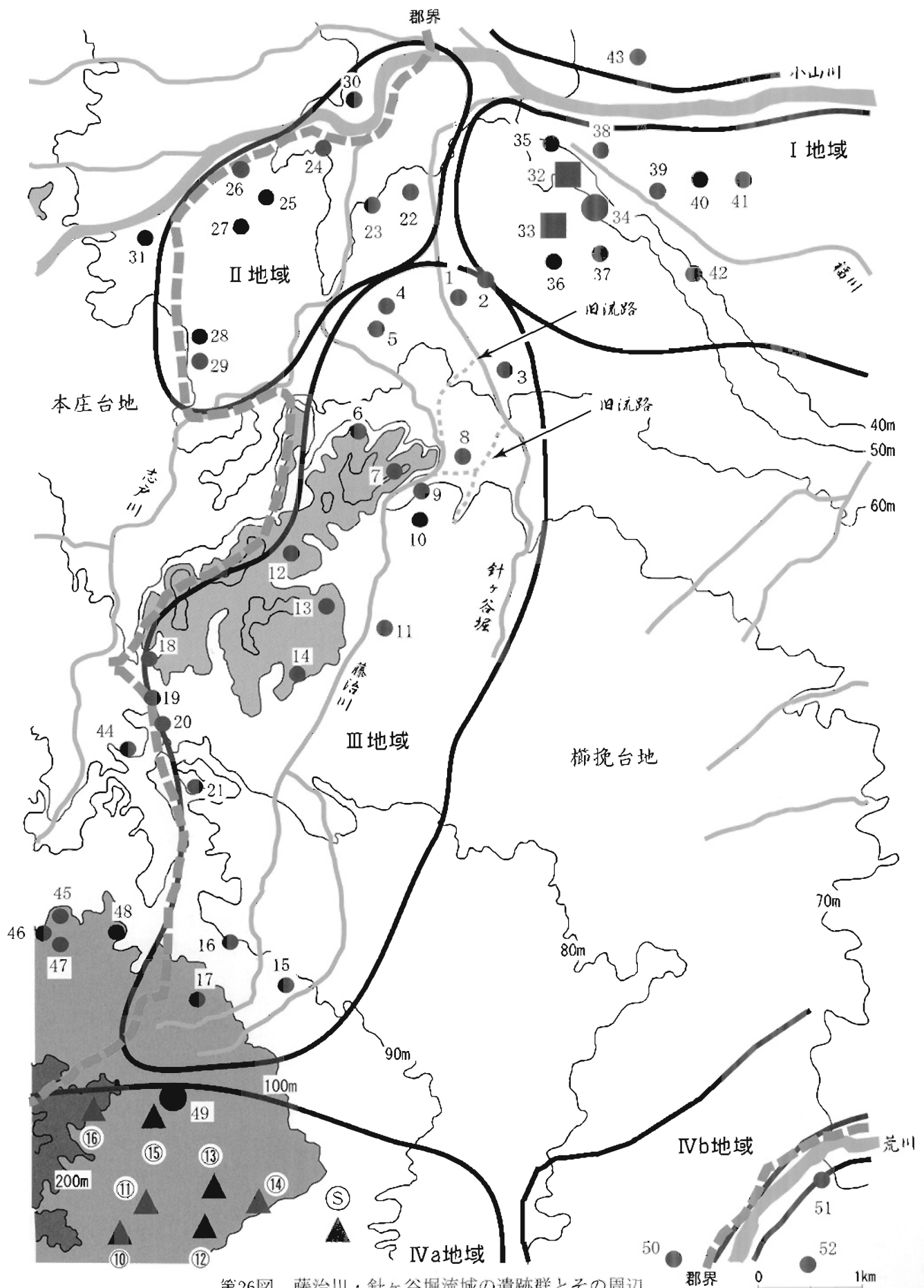
西龍ヶ谷遺跡は、下道南遺跡から800m東南に位置する遺跡である（第34図）。古代～中世にかけての遺構・遺物群が豊富に検出されている。特に9世紀代の住居跡群と掘立柱建物跡の関係は注目される。掘立柱建物跡は、3間×2間の四面庇付建物である。身舎には床束がある。当遺構は、仏堂施設の可能性が高いものとされている（井上2006）。

また、寺山遺跡・石原山瓦窯跡（第37～38図）では、いずれも軒丸瓦をはじめとする遺物類が採集されている。前者からは、8世紀前半代、後者は9世紀後半代の軒丸瓦が採集された。発掘資料ではないため、遺跡の性格は明確でないが、山崎山丘陵裾部において当該期の寺院あるいは瓦窯の存在を暗示する。同一丘陵上にある藤の木遺跡は、瓦塔出土地として学史上著名である（第39図）。池田敏宏氏の分類に照らせば上西原類系であり、年代的には9世紀後半段階が想定できる（深谷市教委2006）。当遺跡は、藤治川流域の谷水田を見下ろす丘陵裾部に位置する。

先述の西龍ヶ谷遺跡・寺山・石原山瓦窯跡との状況をあわせて考慮すると、8～9世紀代において当地域と仏教との関係の深さを読み取ることが可能である。仏教信仰が在地の開発や集団関係に一定の役割を果たしたことが推定される。

やや時期が下る10世紀から11世紀にかけては、中山遺跡が鉄生産の拠点的作用を担う（第40図）。

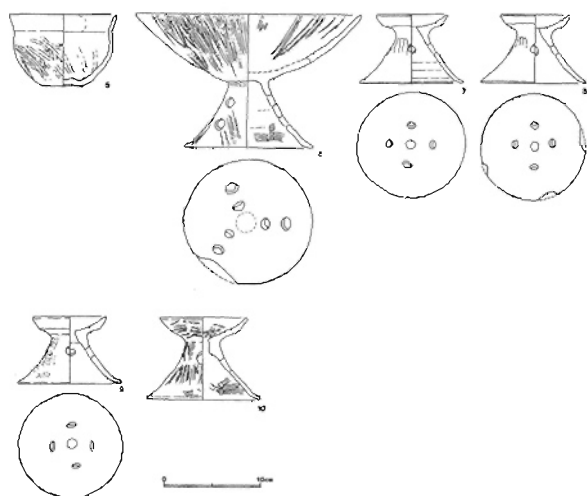
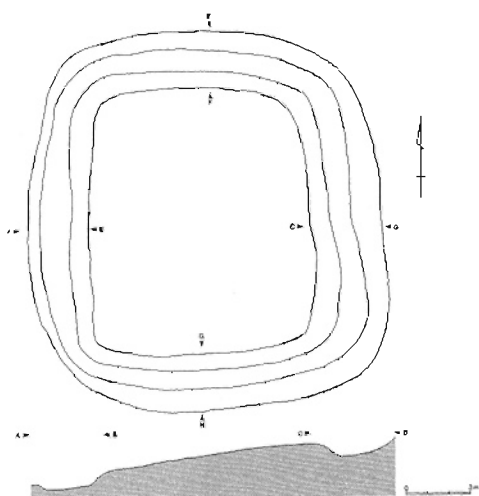
この時期、榛沢郡域は、各地域に鉄生産の拠点的作用を有する遺跡が確認できる。Ⅰ地域には菅原遺跡・中宿遺跡が、Ⅱ地域には、西浦北遺跡が、Ⅳ地域には台耕地遺跡が所在する。このような、郡内各地域の鉄生産は、在地有力層が積極的に関与したことが想定されるが、熊野遺跡で検出された連房式鍛冶工房に象徴されるような、評・郡司層が主導したものとは質的に大きく異なる。また鉄生産関連遺跡の分布を見ると、郡域に分散的に存在し、9世紀後半～10世紀以降活性化することから、各地域での新興勢力が関与したものと考えられる。郡家を象徴する施設である榛沢・幡羅郡の正倉遺構が10世紀後半以降、次第に衰退する現象と鉄生産の郡内地域への拡散現象は、伝統的な社会の崩壊と新たな時代の始まりを象徴する出来事ではないかと思う。



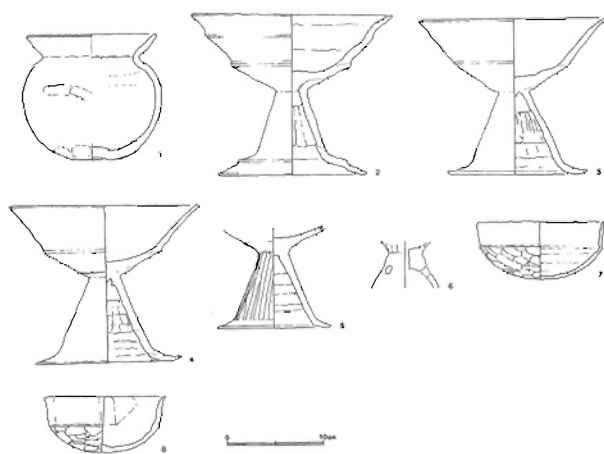
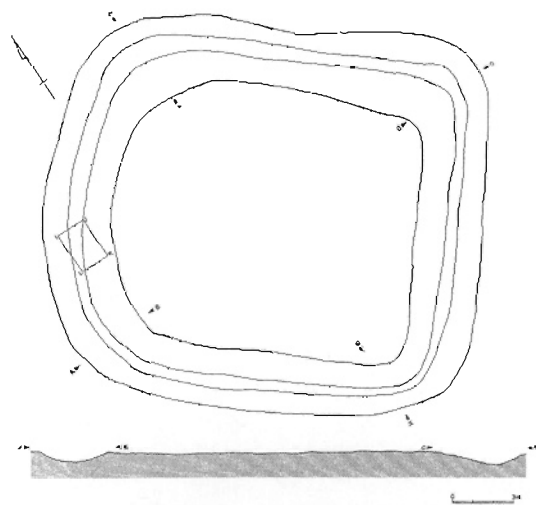
第26図 藤治川・針ヶ谷堀流域の遺跡群とその周辺

地名表

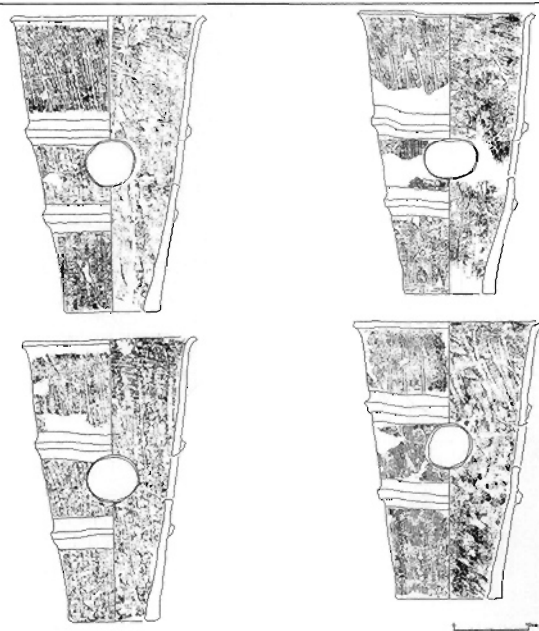
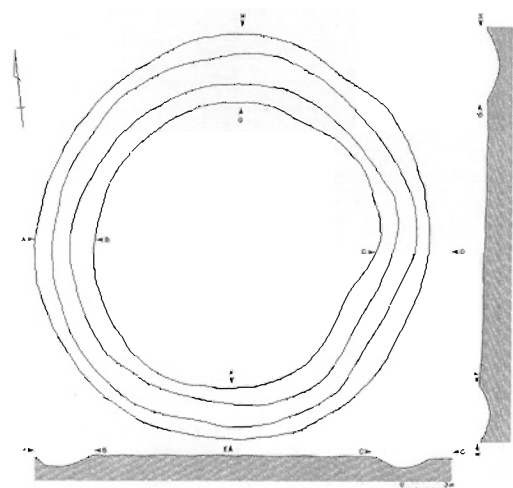
No.	遺跡名	内 容	主 要 参 考 文 献
1	下道南遺跡	8世紀前半の竪穴住居跡及び埴輪片を検出。本報告遺跡。	本報告
2	平塚古墳	胴張型横穴式石室を検出。藤治川右岸の古墳群中の一基。	深谷市教委2006「岡部町史—原始・古代資料編」他
3	西龍ヶ谷遺跡	掘立柱建物（仏堂施設）及び竪穴住居跡群あり。9世紀代。	〃
4	中道南遺跡	7世紀末以降成立する集落跡	東京電力調査会「中道南遺跡」2004
5	地福院遺跡	〃	深谷市教委2006「岡部町史—原始・古代資料編」2006
6	千光寺遺跡	方形周溝墓へ古墳へと変遷する墳墓群及び平安時代集落。	埼玉県遺跡調査会1975「千光寺」
7	石原山瓦窯跡	9世紀代の瓦採集地。斜面地であることから窯跡の可能性あり。	深谷市教委2006「岡部町史—原始・古代資料編」他
8	茶臼山古墳群	明治期に遺物出土。東京大学に収蔵。古墳跡1基調査。	八木契三郎他1902「武蔵国大里郡本郷村古墳調査報告」 東京人類學會雜誌第17巻193号 深谷市教委2006「岡部町史—原始・古代資料編」
9	西谷遺跡	平安時代集落。	未報告
10	柳原遺跡	古墳・平安時代集落。	深谷市教委2006「岡部町史—原始・古代資料編」
11	伊勢方遺跡	平安時代集落。	（財）埼玉文2006「伊勢方遺跡」
12	猪山古墳群 猪山祭祀遺跡	古墳時代中期の祭祀遺物出土。隣接して方墳を検出。	深谷市教委2006「岡部町史—原始・古代資料編」他
13	藤ノ木遺跡	瓦塔が採集される。	石村喜英1962「武蔵藤ノ木の瓦塔遺跡」史跡と美術324号他
14	寺山遺跡	瓦片採集。	深谷市教委2006「岡部町史—原始・古代資料編」他
15	出羽塚遺跡		寄居町教委1999「町内遺跡7」
16	用土前峯遺跡		寄居町遺跡調査会1996「用土前峯遺跡（第2次・第3次）」
17	用土北沢遺跡	古墳時代前期～中期の墳墓群・後期群集墳。古墳～平安時代集落。	寄居町教委2000「用土北沢（3次）」 寄居町教委1999「用土高城・用土北沢（4次）」
18	北坂遺跡	掘立柱建物跡・竪穴住居跡が規則的に配置。「中」焼印出土。	（財）埼玉文1981「清水谷・安光寺・北坂」
19	平原遺跡	奈良・平安時代集落。竪穴住居跡・掘立柱建物跡検出。	（財）埼玉文1982「沼下・平原・中山・お金塚・中井丘・鶴巻・水久保・猪久保遺跡」
20	沼下遺跡		寄居町教委1999「沼下遺跡（第3次）」
21	中山遺跡	鉄生産関連遺構が検出される。	寄居町遺跡調査会1999「中山遺跡（第1次・第2次）」他
22	水窪遺跡	古墳・平安時代集落。後期古墳跡検出。	岡部町教委1976「水窪・新井遺跡の調査」 岡部町教委1977「水窪遺跡の調査（第2次）」
23	新井遺跡	土師器焼成遺構検出。奈良～平安時代集落。	岡部町教委1976「水窪・新井遺跡の調査」
24	六反田遺跡	古墳時代前期～平安時代まで断続的に遺構が検出される。中核的集落。	六反田遺跡調査会1981「六反田」
25	西浦北遺跡	古墳時代前期～平安時代まで断続的に遺構が検出される。鉄生産関連遺構あり。	岡部町教委1983「西浦北・宮西」
26	大寄遺跡	古墳時代前期～平安時代まで断続的に遺構が検出される。	岡部町教委1983「大寄B・西浦北」 （財）埼玉文2000「大寄遺跡Ⅰ」 （財）埼玉文2002「大寄遺跡Ⅱ」
27	宮西遺跡	古墳時代前期～平安時代まで断続的に遺構が検出される。	岡部町教委1983「西浦北・宮西」・（財）埼玉文1999「宮西遺跡」 （財）埼玉文2003「宮西遺跡Ⅰ」・（財）埼玉文2005「宮西遺跡Ⅱ」
28	石碓遺跡	古墳時代前期～平安時代まで断続的に遺構が検出される。周溝墓群検出。	岡部町教委1978「後援沢遺跡群の調査」 岡部町教委2002「石碓B遺跡」
29	地神祇遺跡	古墳時代後期集落。大溝からは古墳時代前期～後期の遺物が大量に出土。	岡部町教委1978「後援沢遺跡群の調査」 岡部町教委2000「町内遺跡Ⅰ」
30	東五十子遺跡		東五十子遺跡調査会2002「東五十子・川原町」
31	古川端遺跡	古墳～平安時代集落。	埼玉県教委1978「東谷・前山2号墳・古川端」
32	中宿遺跡	横沢郡正倉。倉庫群20棟が検出された。存続時期は7世紀末～10世紀頃。	岡部町教委1995「中宿遺跡—推定横沢郡正倉跡の調査」 岡部町遺跡調査会1997「中宿遺跡Ⅱ」 岡部町教委1999「中宿遺跡Ⅲ」
33	熊野遺跡	横沢評家関連遺構検出。7世紀第3四半期成立。道路遺構、大規模建物群、連房式鍛冶工房・石組井戸跡など豊富な遺構群が検出される。畿内産土師器、帯金具、円面硯などが出土。	岡部町遺跡調査会他2000・2003・2004・2004「熊野遺跡Ⅰ～Ⅳ」 岡部町教委2000～2005「町内遺跡Ⅰ～Ⅵ」 （財）埼玉文2000「熊野B・新田」・（財）埼玉文2002「熊野A・C・D区」
34	岡庭寺	基壇状遺構検出。8世紀前半に建立。	岡部町教委2005「町内遺跡Ⅵ」
35	上宿遺跡	古墳時代後期～奈良・平安時代まで継続する集落。	岡部町教委2000「町内遺跡Ⅰ」 岡部町遺跡調査会1998「上宿遺跡—F地点の調査」 岡部町遺跡調査会2005「上宿遺跡—A地点の調査」 岡部町遺跡調査会2005「上宿遺跡—B地点の調査」
36	新田遺跡	飛鳥～平安時代まで継続する集落。	岡部町遺跡調査会他2000・2003・2004・2004「熊野遺跡Ⅰ～Ⅳ」 岡部町教委2000～2005「町内遺跡Ⅰ～Ⅵ」
37	白山遺跡	飛鳥～平安時代まで継続する集落。	埼玉県教委1989「白山遺跡」
38	砂田前遺跡	古墳時代中頃～平安時代まで継続する集落。古墳時代後期初頭頃規模が拡大。	（財）埼玉文1991「橘詰・砂田前」 （財）埼玉文1998「砂田前」
39	岡部条里遺跡	古墳時代集落。条里地割確認。	岡部町教委1998「岡部条里遺跡」 （財）埼玉文1999「岡部条里・戸森前」
40	橘詰遺跡	条里関係遺構及び竪穴住居跡確認。	（財）埼玉文1991「橘詰・砂田前」
41	矢島南遺跡	古墳時代前期～平安時代集落	（財）埼玉文1994「矢島南遺跡」
42	菅原遺跡	平安時代集落。鉄生産関連遺構あり。	（財）埼玉文1996「菅原遺跡」
43	町田西遺跡	古墳・平安時代集落。掘立柱建物跡検出。	深谷市教委1991「町田西遺跡」・同教委1995「町田西（第2次）」
44	甘粕山	瓦塔出土。掘立柱建物跡あり（東山遺跡）。炭焼窯あり（如来堂遺跡）。	埼玉県教委1980「甘粕山」
45	鍛冶屋敷遺跡	古墳～平安時代集落。	美里町教委1999「鍛冶屋敷遺跡・川向遺跡・森後遺跡」
46	川向遺跡	〃	〃
47	森後遺跡	〃	〃
48	上野遺跡	神社遺構（？）検出。	美里町教委2000「上野遺跡」
49	吉野院寺	古代寺院跡。確認調査実施。	未報告
50	台耕地遺跡	平安時代集落跡。鉄生産関連遺構あり。	（財）埼玉文1984「台耕地（Ⅱ）」
51	如意・如意南遺跡	古墳時代中期～平安時代まで続く中核的集落。	（財）埼玉文2000「如意・如意南」・（財）埼玉文2004「如意南遺跡Ⅱ」・（財）埼玉文2001「如意Ⅱ」・（財）埼玉文2002「如意Ⅲ・川端」・（財）埼玉文2003「如意Ⅳ」
52	島山重忠館跡	古墳～平安時代集落。	川本町教委1999「島山館跡—5次調査の報告」



10号墳

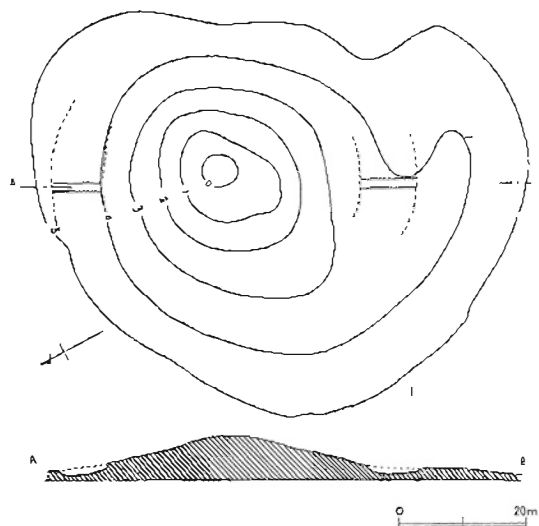


4号墳

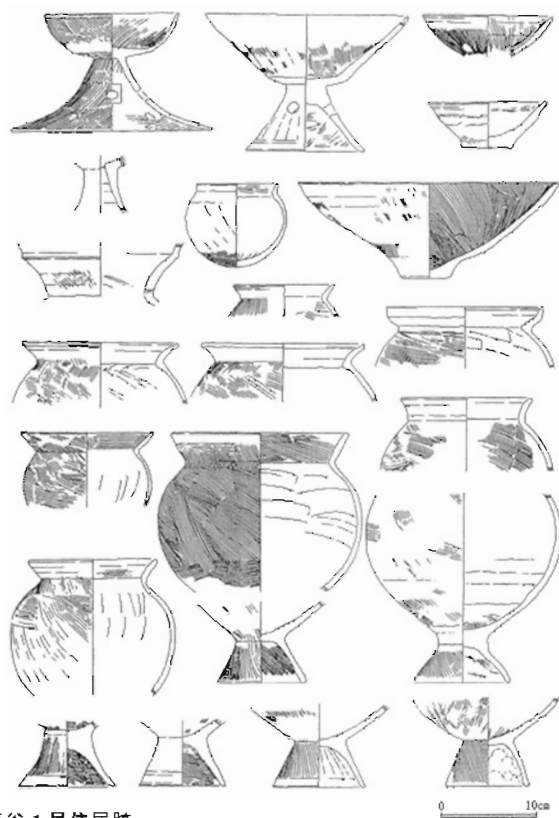


6号墳

第27図 用土北沢遺跡



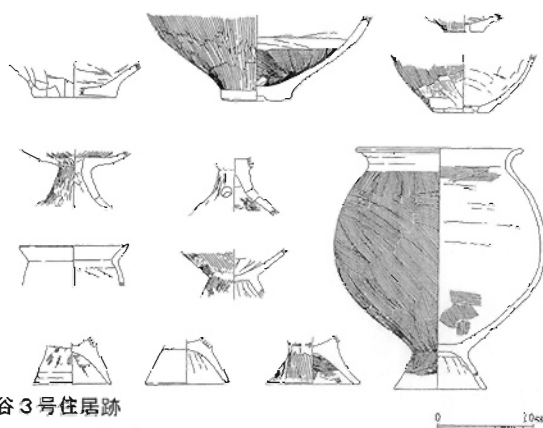
長坂古墳



玄蕃谷 1号住居跡



玄蕃谷 2号住居跡



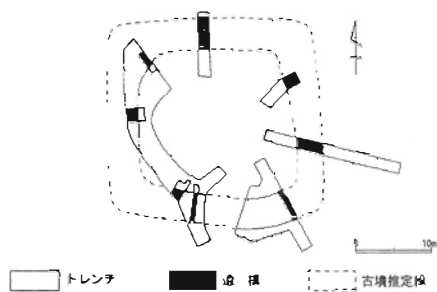
玄蕃谷 3号住居跡

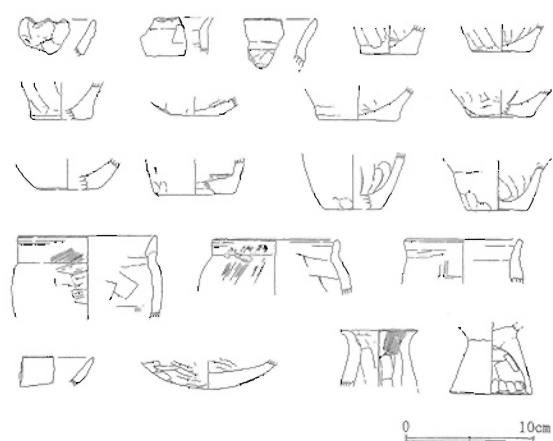
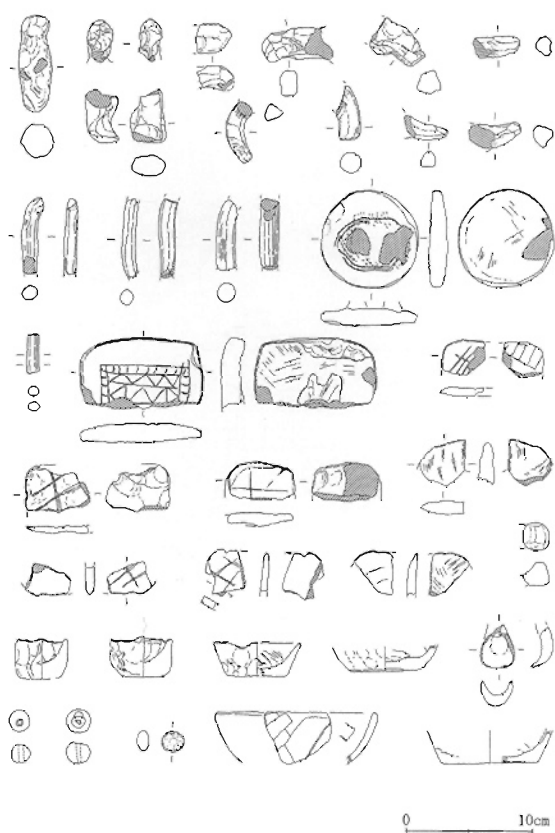
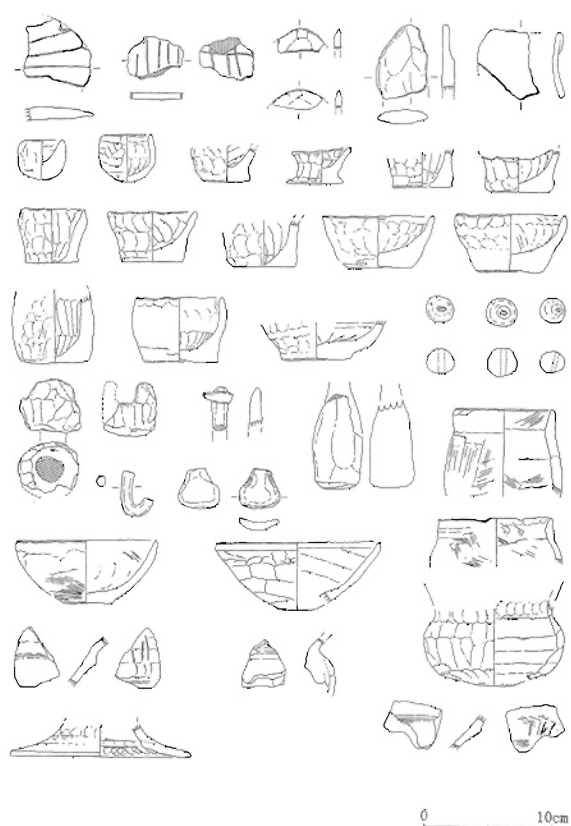
第28図 長坂古墳・玄蕃谷遺跡



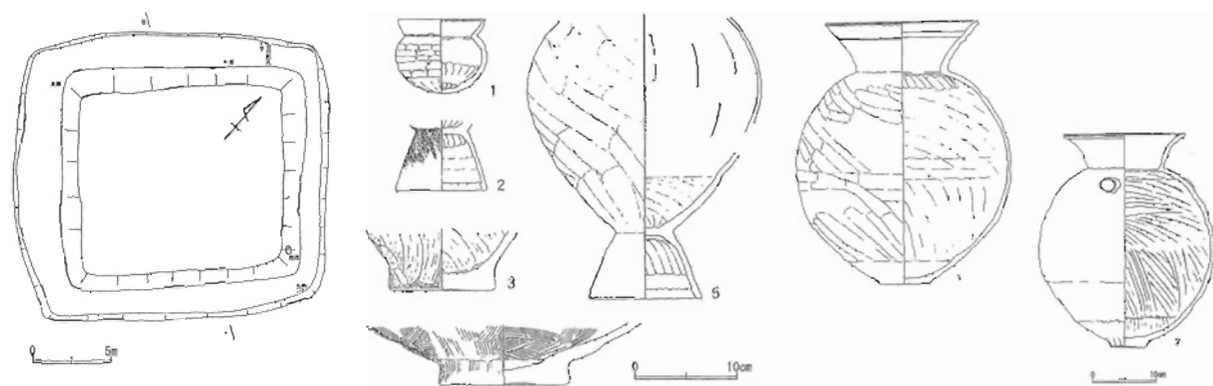
第29図 猪山古墳群

4号墳

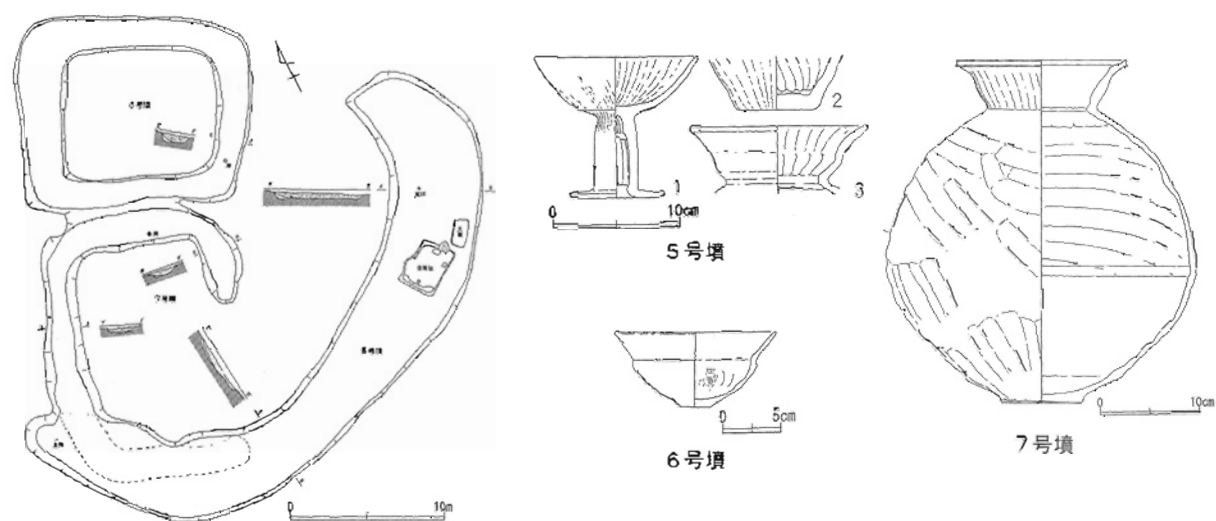




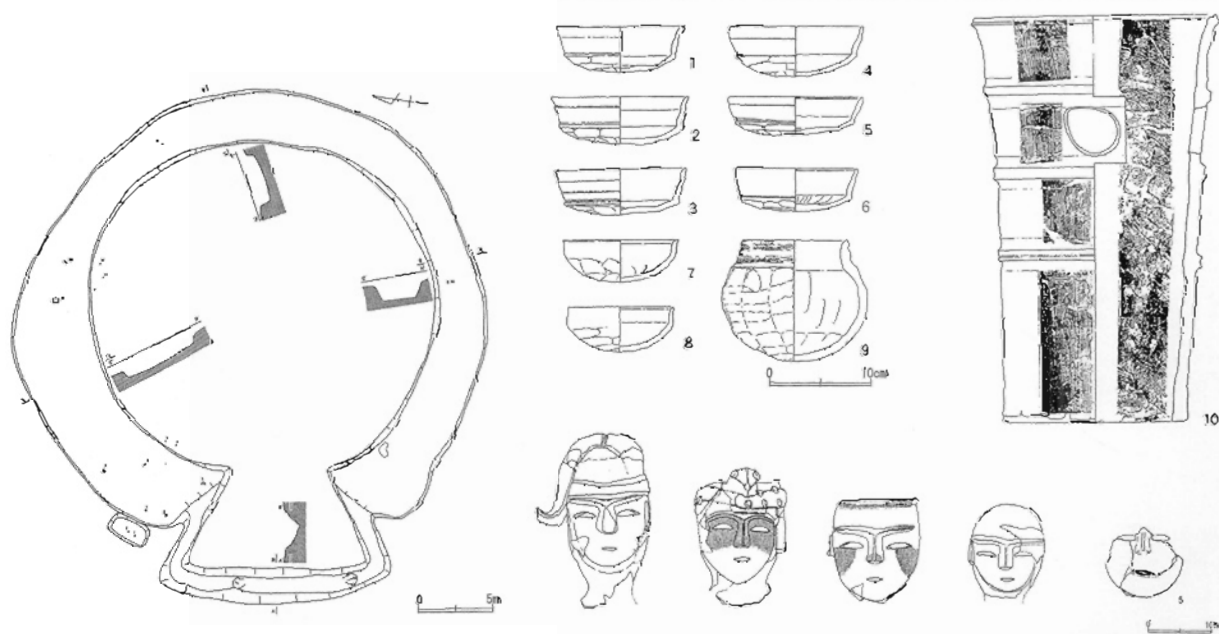
第30図 猪山祭祀遺跡



4号墳



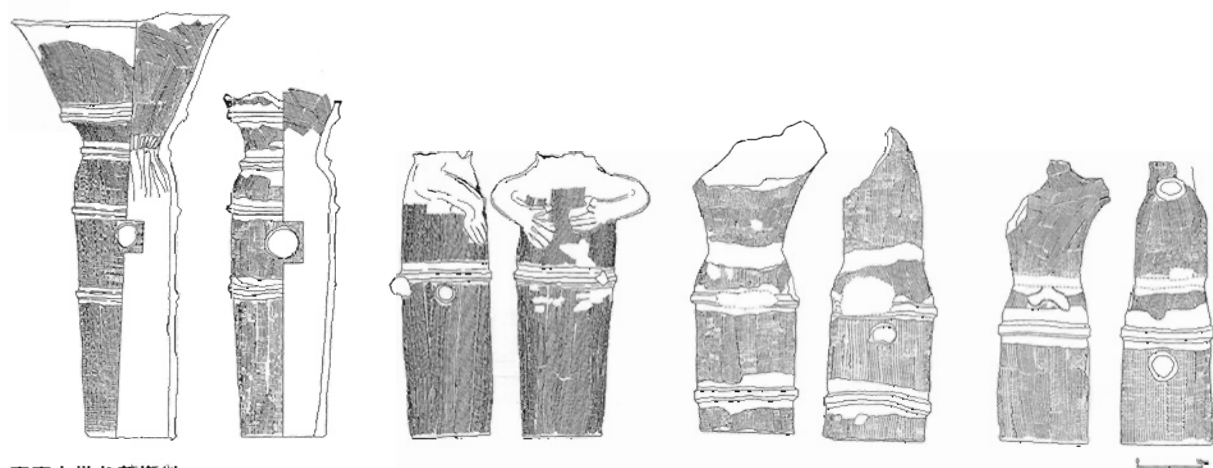
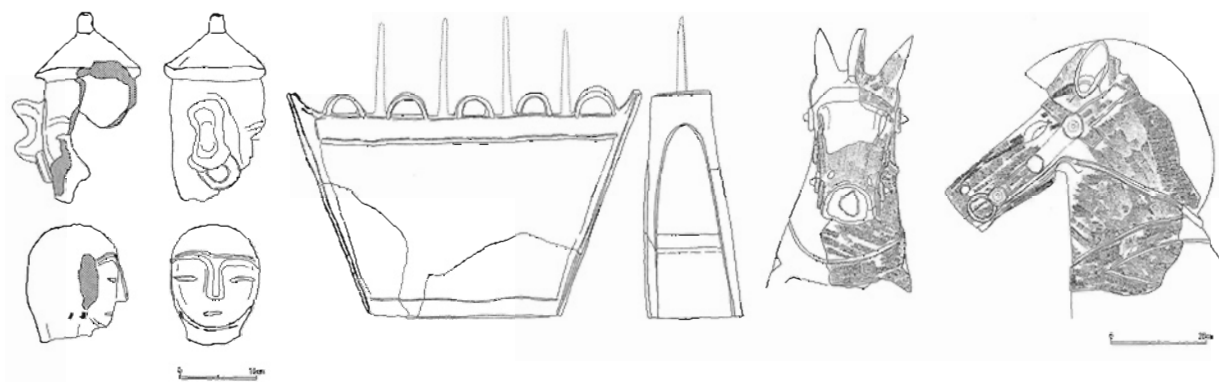
5~7号墳



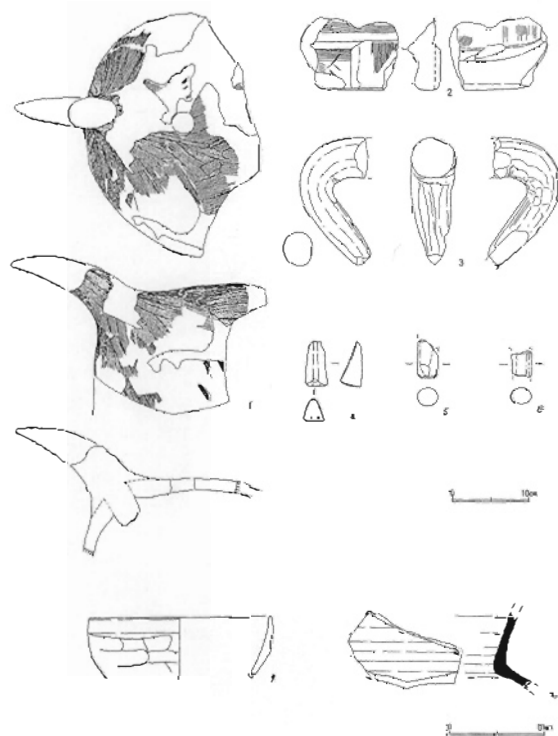
1号墳

第31図 千光寺遺跡



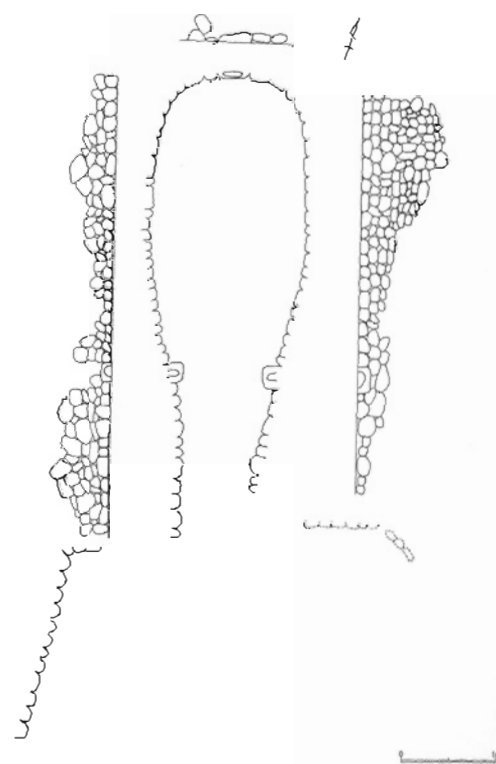


東京大学収蔵資料



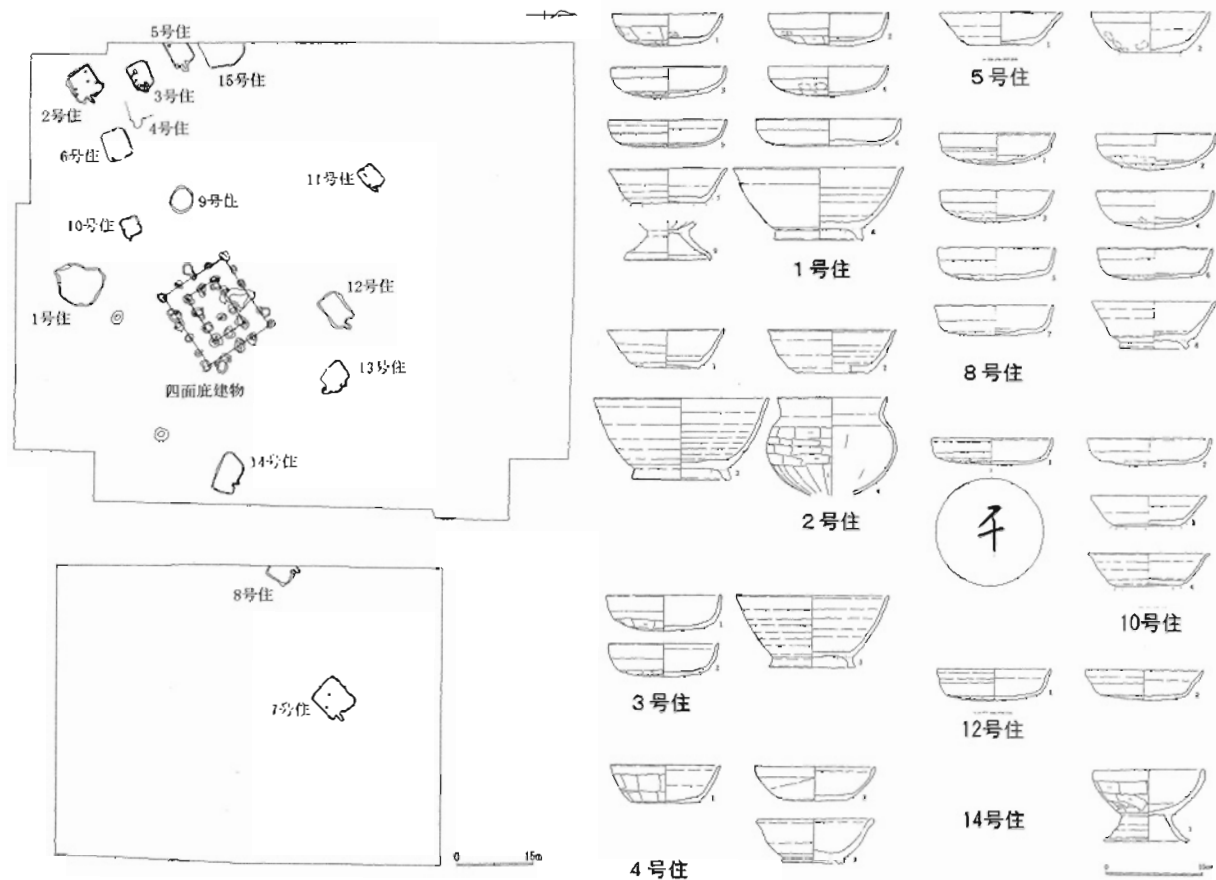
1号墳

第32図 茶臼山古墳群

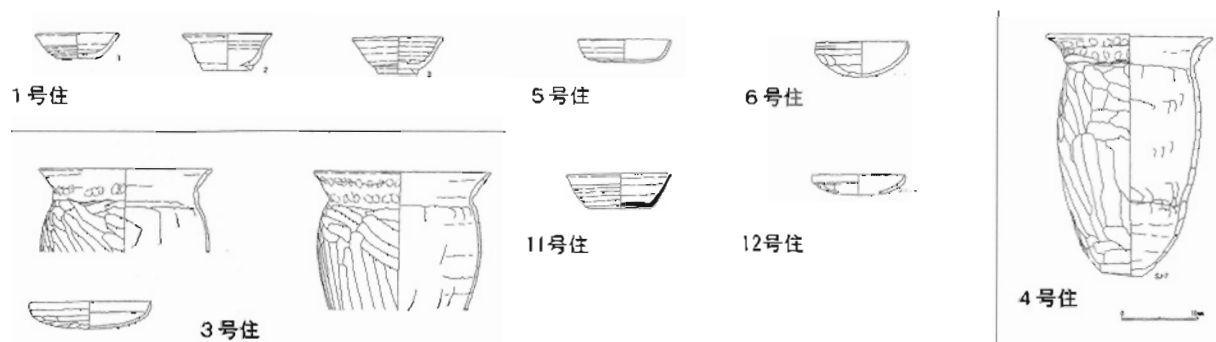


第33図 平塚古墳

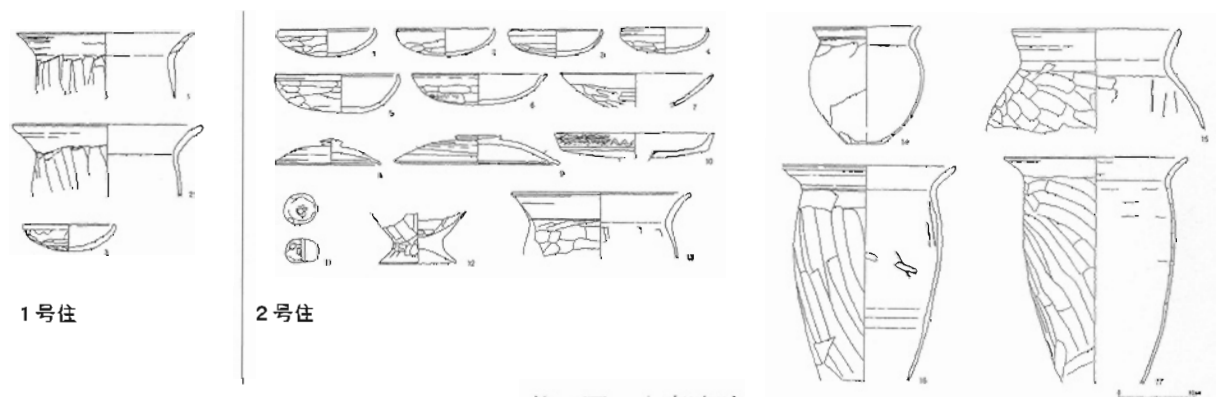




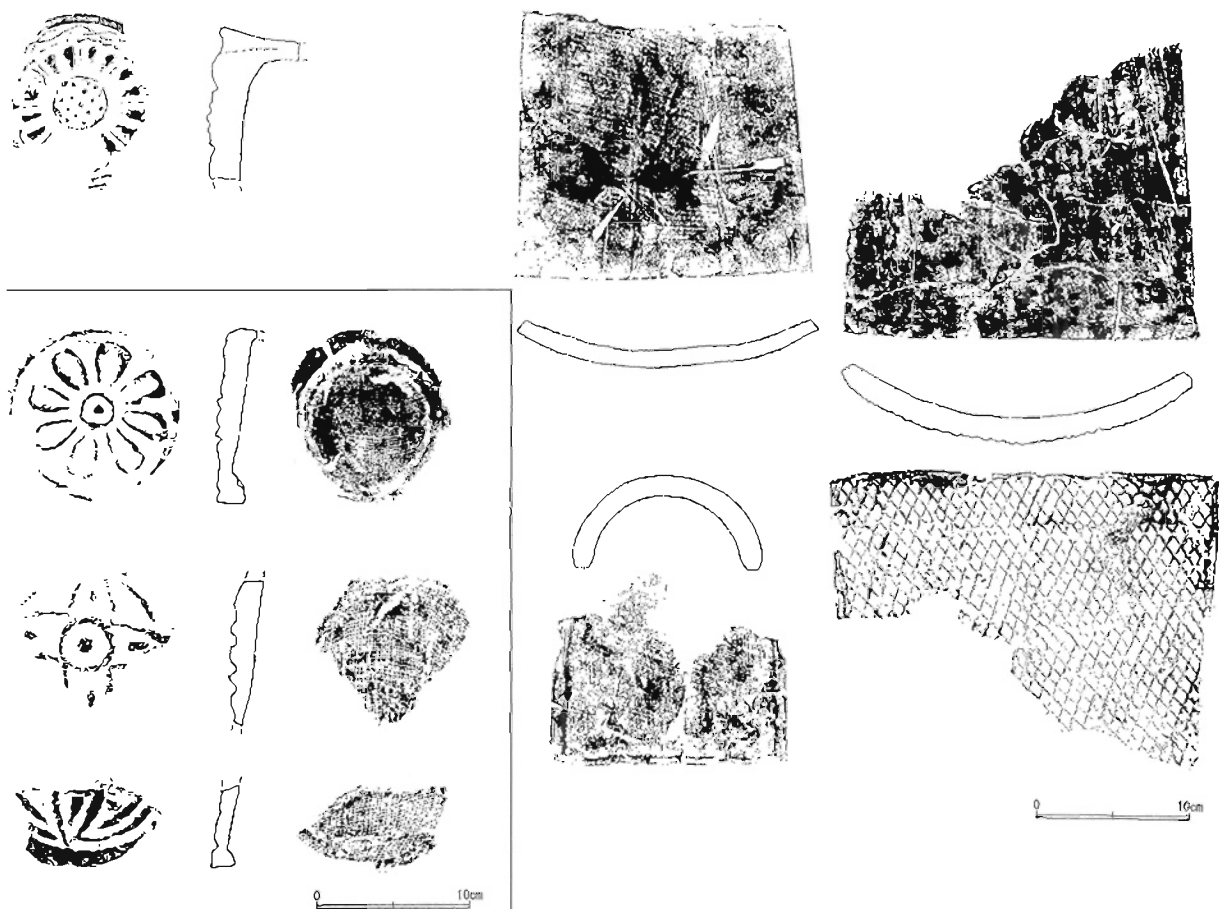
第34図 西龍ヶ谷遺跡



第35図 地福院遺跡

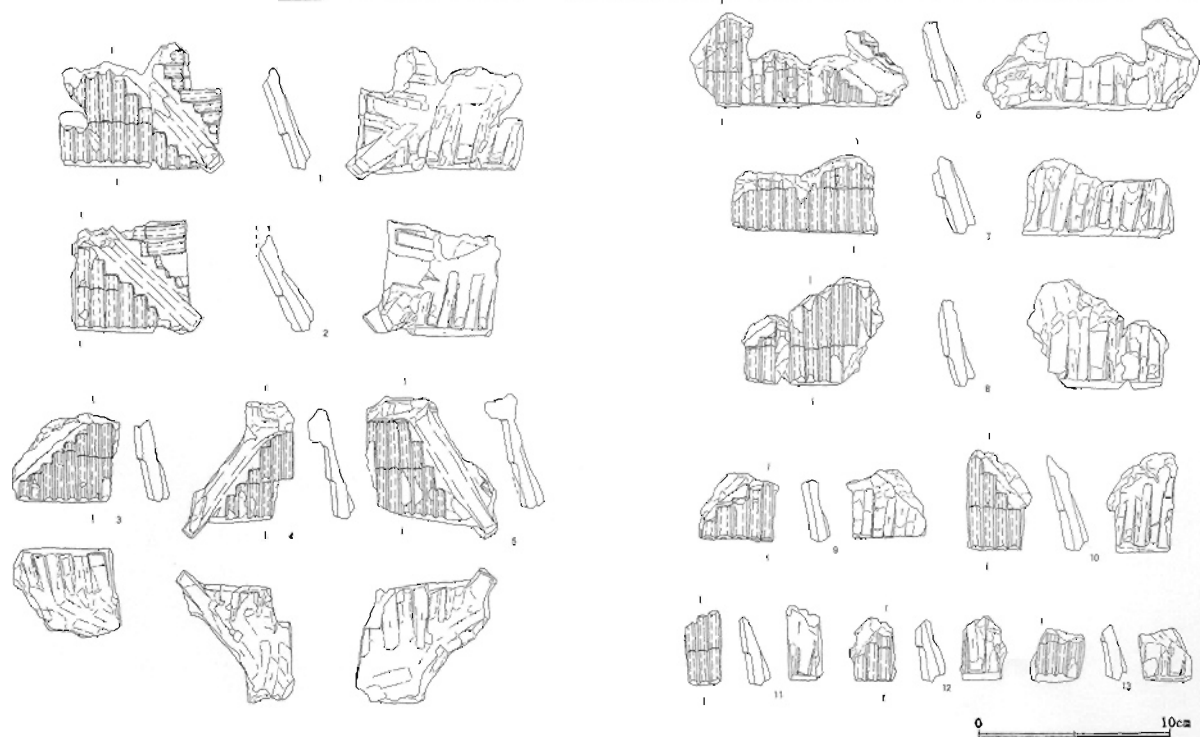


第36図 中南遺跡

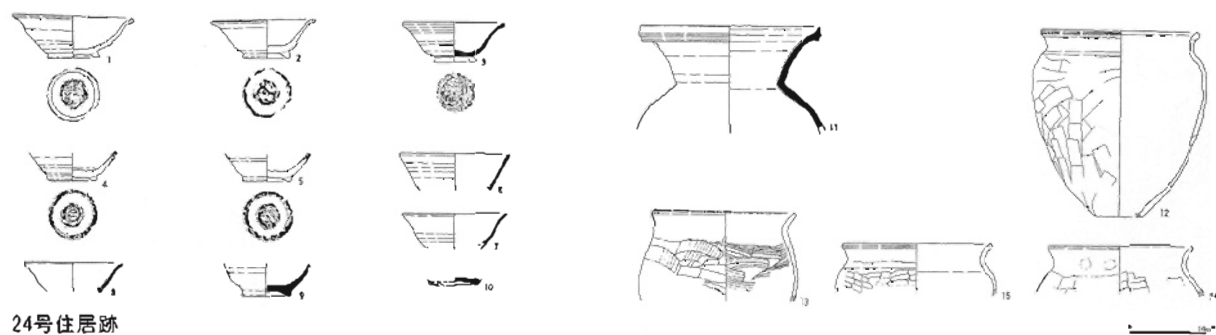
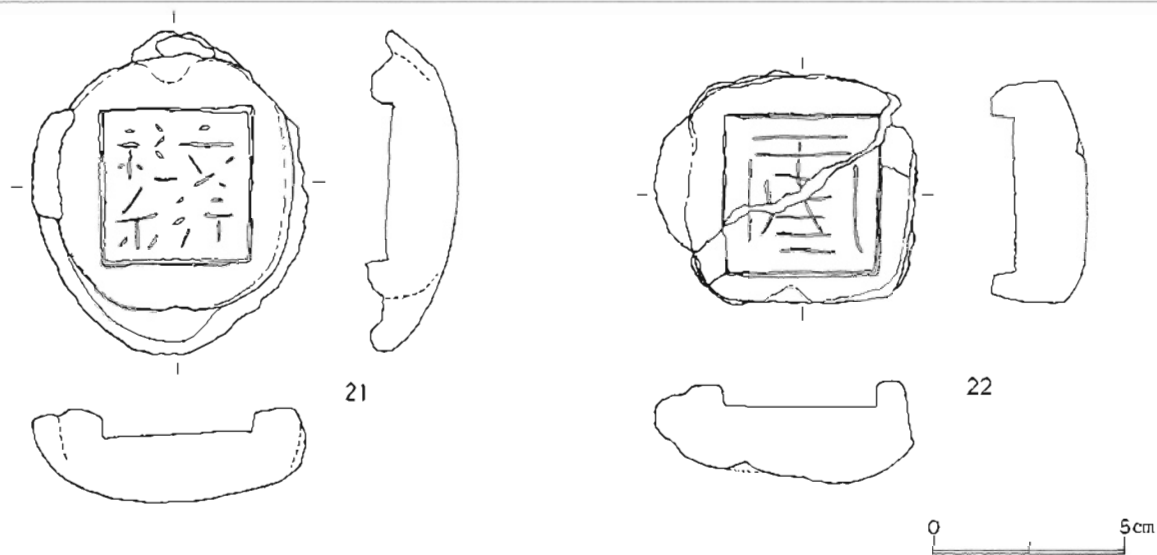
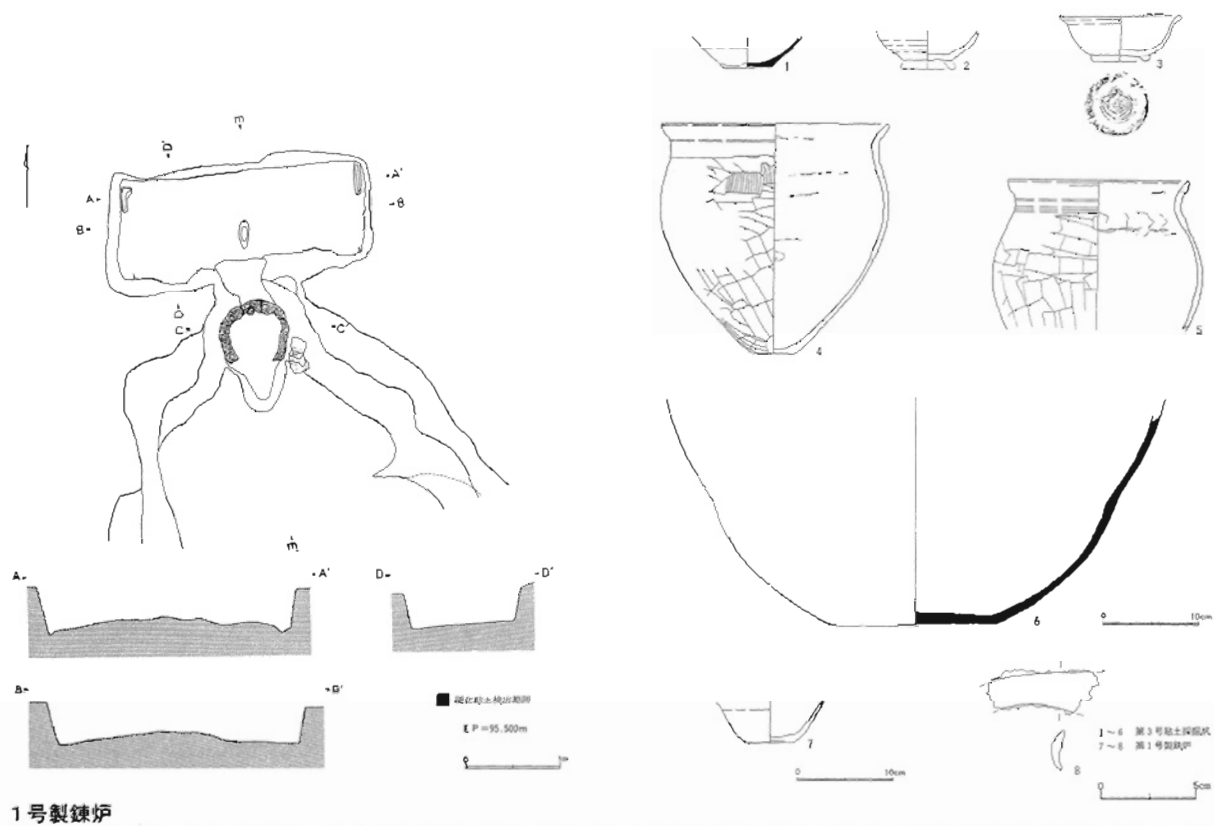


第37図 石原山瓦窯跡

第38図 寺山遺跡



第39図 藤の木遺跡



第40図 中山遺跡